

PRESS RELEASE

2026年4月8日

報道関係者各位

南郷里地域づくり協議会

「南郷里散策マップ」完成＆「第3回南郷里フォトコンテスト」作品募集について(周知依頼)

南郷里地域づくり協議会広報部会で昨年秋から企画・編集してきた「南郷里散策マップ」がこのほど完成、4月1日に地域内で全戸配布します。なお、地域外の方でも、ご希望あれば無料進呈致します。

また、同じ広報部会で企画した「第3回フォトコンテスト」では、現在応募作品受付中。地域内外を問わず、誰でも応募可能ですので、奮ってご応募ください。

●「南郷里散策マップ」概要

南郷里地域は、北陸自動車道を境に東側はのどかな農村地帯が広がる一方、西側には新しい住宅地が多く、空間的な「地域の分断」が見受けられる。さらに地域全体では、昼間の地域不在や子どもの減少等による地域への関心や愛着の希薄さが危惧される。南郷里地域づくり協議会では、この地域に暮らす人全員にその魅力を知ってもらい、「ここで共に暮らしたい」と思ってもらえるよう、表記のマップを作成した。

発行部数は4500部、地域内の特徴的な場所等を「名物」「自然」「名勝・史跡」「人々の暮らし」に分類してマップに落とし込み、それぞれ画像と文章で説明を加えた。これらの場所は、今から5年前、当時のコーディネーターが地域住民を対象に「南郷里の魅力」についてアンケートを実施した際、記載の多かったものから選んだ。

南郷里を散策する際に持ち歩くことを想定し、持ちやすいA3DM折りとした。デザインは、甲賀市信楽町在住のデザイナーに依頼した。

マップは、南郷里地域づくりセンターほか、地域内の主要施設や店舗、クリニック等に設置予定、遠方の方には送料着払いで送付することも可能。

なお、マップに登場する「なんごうりマン」は、南郷里小学校で誕生した地域のイメージキャラクター。小学校の先生がキャラクターイメージを作成、赤、青、黄の3人体制で、小学校や幼稚園の行事等で実際に出現している。

●「第3回南郷里フォトコンテスト」概要

こちらは南郷里の“現在の魅力”を集め・発信するイベント。「第1回南郷里フォトコンテスト」(2023年12月～2024年4月に募集)以降昨年度も実施、今回が第3回目となる。

今回のサブタイトルは「南郷里のココが推し!」。応募者が自信を持って「推し」と言える場面を撮った作品を広く募る。応募受付は2月14日(土)から6月14日(日)まで。若年層から年配の方まで気軽に応募できるよう、応募方法は4種類。データでの送付のほか、インスタでのタグ付け応募や、プリントアウトしてまちセンに持参する方法でも受け付ける。

これまでの入選作品は、白山神社(加納町)の桜、今川町のコスモス、伊吹山等の自然の風景を撮ったものが多かったが、今年は特に南郷里に暮らす人々や動植物の生命感や躍動感に溢れた作品の応募を期待している。(詳細はフライヤー参照)

入選した作品は、今年秋頃、アルプラザ長浜南口横の交流スペースと、「南郷里フェスティバル」(文化祭)で展示予定。また、来年のカレンダー(年間ポスター型)に載せ、自治会等に配布(予定)、南郷里の魅力を広く周知する。

【本件に関するお問い合わせ】

長浜市新栄町1065-2(南郷里まちづくりセンター内)南郷里地域づくり協議会(HP→)
(担当:畑中) 電話 0749-62-0287 / メール nangouri-chikyoubu@zeus.eonet.ne.jp



なんごうりマンと行く 南郷里 散策マップ

名物

自然

名勝・史跡

おでかけ
しよう!

人々の暮らし



南郷里地域づくり協議会

名物

1 地域を笑顔にする名物劇団「七条素人劇団」

地元有志によって結成された「七条素人劇団」。練習を重ねて磨かれた息の合った掛け合いは、今では地域の「名物」です。劇団は、各地の自治会や老人会等に出向き、ギャグやハロディを取り入れながら、発声と共に地域の魅力を楽しく紹介しています。ユーモアあふれるステージは、毎回会場を笑いで包み込み、多くの人に元気を届けています。



2 百体を超えるお地藏様を祀る「福の神地藏尊」(榎木町)

かつてこの地には古墳があり、「榎木百坊」と呼ばれるほど寺院や坊があったとされています。そんなとに由来してか、榎木町では近年になってもお地藏様が続々と参詣されています。それらを集めてお祀りしたのがこの地藏堂。毎年8月15日には地藏盆が開帳されています。



発行 南郷里地域づくり協議会
長浜市新栄町1065-2
(南郷里まちづくりセンター内)
Tel. 0749-62-0287



自然

3 蛭

南郷里には、夏になると蛭が舞うスポットが点在しています。今川町北郊外の田んぼ道もそのひとつ。こぼれ落ちた土に蛭が舞う姿は、自然とふれあう貴重な学びの場。虫観察を通して、生き物の暮らしや自然環境の大切さを感じ取ることができます。



4 コスモス畑 (今川町)

休耕田を利用して作られる秋限定の癒しのスポット。今川町の人たちが種を蒔き育てたコスモスが道行く人の心を和ませてくれます。このコスモス畑、毎年場所が変わるので、見つけたらラッキーな気分。思わず時間を忘れてしまうようなひとときをどうぞ。



5 伊吹山 (米原市)

季節や時間によって表情を変える、避暑の最高峰・伊吹山。降雪の様子から天候を予報するなど、南郷里の人々の暮らしと共にあります。



伊吹山は南郷に響き渡る地域のシンボル

名勝・史跡

8 創建1200年以上、南郷里最古級の古社、春日大社(大東町)

深い緑に包まれた境内はまさに「鎮守の杜」。総本社は奈良の春日大社。50年ごとご鎮座を祝う祭りが特徴で、定期的鎮座祭が執り行われている神社は南郷里地域ではここだけです。5月頃、参道を彩る藤棚は癒しのスポット。境内には湧き水が流れ、清らかな水の恵みを感じられるのも魅力のひとつです。



9 “天下一”の能面打ちの技・イセキの能面 (七条町)

室町時代に七条に移り住んだといわれる井岡家は、代々能面打ちを学び、江戸時代、徳川家から「天下一」の称号を与えられるほどに、2代目の井岡次郎左衛門親政が打った「尉(じょう)」と「姥(うば)」は市の指定彫刻文化財。
※写物は長浜城歴史博物館に委託保管されており、大祭では別の面をつけています。



10 「尉」と「姥」が迎える足柄神社大祭 (七条町)

毎年5月5日の大祭(市指定無形民俗文化財)の見どころは、「センギョウ」の掛け声と共に運ばれる神輿の渡御と、渡御を終えて神社に入ろうとする神輿を獅子を伴った「尉」と「姥」が出迎えるシーン。祭のクライマックスには、多くの観客が神社に集まり、その様子を見守ります。



11 伝統文化を伝える曳山「遇々館」(宮司町)

日枝神社御祭所に保存されている曳山「遇々館(ごごかかん)」は、長浜市指定文化財に登録されています。その精巧な彫刻と気品ある行まいは、長浜の伝統工芸の技術の高さを物語っています。江戸時代の絵師・岸駒が描いた金碧障壁画の「松虎図」とともに、毎年5月の宮川祭で見ることができます。



12 歴史が息づく古刹、総持寺(宮司町)

奈良時代、名僧・行基によって開かれ、長い歴史の中で幾度も戦火に巻き込まれながら、復興を重ねてきた総持寺。姉川合戦後に豊田秀吉から密進を受け、寺の再興が促されたといわれています。本堂には、木造聖観音立像(平安時代、重要文化財)が安置されています。5月になると咲き乱れる牡丹の花は必見の美しさ。



13 “日本のレオナルド・ダ・ヴィンチ”小堀遠州公出生地(小堀町)

小堀村に生まれ、武将でありながら「日本のレオナルド・ダ・ヴィンチ」と呼ばれる小堀遠州。城郭整備から造園建築まで幅広く手掛ける一方、茶人としても多くの大名や文化人と交流を深め、その美意識は現代の茶の湯文化にも受け継がれています。水尊皇も遠州公の発案であることは、意外と知られていません。遠州公ゆかりの地でその意匠を感じてみては。



人々の暮らし

6 のどかで癒される水辺のおさんぽコース(今川町)

町全体で守り続ける美しい遊歩道があり、水路には鯉がゆったりと泳いでいます。東屋は桜の季節にはちょっとしたお花見スポットとしても人気。気軽に立ち寄れる、地域自慢の癒しの散策道です。



7 まちの安全を見守る、南郷里のヒーロー

南郷里小学校オリジナルキャラクター「なんごうりマン」。まちなかでは「飛び出し坊や」看板として活動中。南郷里の子どもの安全を見守る頼もしい存在です。看板には赤色と黄色の2種類があります。探してみてください。



14 小堀遠州の父・小堀新介正次屋敷跡

小堀町内には、遠州の父・新介正次(しんすけまさつぐ)屋敷跡があります。新介正次は浅井長政に仕え、浅井家滅亡後は豊臣秀吉に仕えた人物。近くの五所神社境内には、茶室を備えた文化施設である小堀遠州会館があり、遠州流茶道の「美の心」を後世へ受け継ぐ活動が行われています。



散策マップ

南郷里地域は、一面に広がる平野部のほぼ中央に北陸自動車道が走り、西側には便利な市街化区域、東側には四季折々の田園風景が広がっています。数多くの名勝や史跡、社寺仏閣が点在し、豊かな自然とともに、長い歴史と文化が息づいています。



桜スポット



四季を色取る癒しの参道、白山神社（加納町）



白山神社の参道は、春になると桜が一斉に咲き、まるで花のトンネルのような景色が広がります。

秋には、境内の木々が赤や黄色に色づき、落ち葉の舞い舞いの中で紅葉狩りを楽しめます。



日吉神社の「三猿」
「見ざる、聞かざる、言わざる」の三猿がお迎えしてくれます。



遠州公出生地顕彰碑
遠州公の出生を象徴する大きな自然石の顕彰碑が立っています。地元の方が交代で清掃を行い、受け継いでいます。

13 14



開新学校跡（七条町）
明治の始め、南郷里地域にできた3つの学校のうちのひとつ。



どこでもドアと蓮の花
住宅街に突如現れる蓮池。見頃の7月にはピンク色の鮮やかな蓮が咲き乱れます。その横には同じくピンク色の「どこでもドア」も、どこでもドアフリークが全国から訪れています。



総持寺の大門（宮司町）
総持寺の大門は滋賀県指定文化財。左右に安置されている仁王像が迎えてくれます。この大門は、江戸時代初期の創建ながら、戦山時代の華やかな様式を色濃く残す貴重な建築です。



総持寺の牡丹
毎年5月頃になると牡丹が一斉に咲き誇り、大輪の花々が境内を鮮やかに彩る光景は正春、初夏の風物詩として多くの参拝者に親しまれています。



日吉神社大祭（宮司町）
毎年5月3日、4日が大祭。お旅所と総持寺を往復する神輿巡行のある、神仏一体の祭礼です。
重さ約1.5トンの「山王神輿」



春日神社
平安衣姿に身を包んだ可憐なお稚児さん



日吉神社、樹齢800年のケヤキ
境内にある樹齢800年を超える大きなケヤキの木



日吉神社の神の猿「まさる」さん
社殿を守るのは、狛犬ではなく「神の猿」と書いて「まさる」さん。その名には「勝る(まさる)」「魔が去る(まがさる)」といった縁起の良い意味が込められ、勝連・魔除けの神様として親しまれています。

5 伊吹山

9 10

第3回

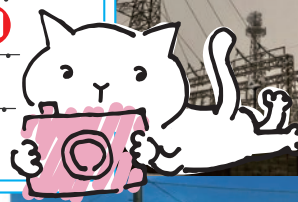
ココが 南郷里の 推し! フォトコンテスト

南郷里地域で、あなたの「推し」は何・どこですか？
モノや場所はもちろん、南郷里に暮らす人や動植物の生命感や躍動感が感じられる写真の応募もお待ちしております！

募集期間 2026年2月14日(土)～6月14日(日)

応募資格 どなたでも(南郷里在住・在勤等は問いません)

主催：南郷里地域づくり協議会/企画：広報部会



バックの写真は、
第2回コンテスト
入賞作品です。



応募条件

- ・南郷里地域をPRするのにふさわしい写真であること
- ・南郷里地域内で(から)撮ったもの
- ・他のコンテストに応募していないこと
- ・被写体となる個人が特定できるものは、その方の許可が取れていること
- ・お1人様3点まで

審査等

- ・応募作品は受付終了後に厳正な審査を行い入賞作品を選出、入賞者には2026年7月下旬までに事務局から直接連絡します。
- ・広報紙やFacebook等各種広報媒体で、広くお知らせします。
- ・入賞作品は、南郷里地域づくり協議会のオリジナルカレンダーや広報紙、SNS、イベント等で使用させていただきます。

応募方法

以下のいずれかの方法でご応募ください。入賞したときのため、画像データは保存しておいてください。

※応募に関する詳細が裏面にありますので、必ずご確認ください。

※ご不明な点はお気軽にお問い合わせください。事務局：南郷里地域づくり協議会広報部会 TEL0749-62-0287



プリント写真を届ける

- ・プリントした写真に下記の応募票を添付して事務局へ持参、または送付してください(応募票が足りない場合はコピーしてお使いください)。
- ・写真サイズは四つ切り(A4)程度(カラー・モノクロは問いません)。
- ・応募作品は返却いたしません。
- ・送付先：〒526-0841 長浜市新栄町1065-2 南郷里地域づくり協議会広報部会「フォトコンテスト」係



データで送る

- ・10MB以内のJPEGファイルを、nangouri-chikyuu@zeus.eonet.ne.jp宛、または下記QRコードから送付してください。
- ・メール本文に氏名、住所、電話番号、年齢・写真タイトル、撮影場所(町名、地名等)、撮影月を記載してください。
- ・一度に送信できない場合は大容量ファイル転送サービス「メガファイル便」等をご利用ください。



インスタに投稿する

- ・南郷里地域づくり協議会のInstagramアカウント「@nagouri.chikyuu」をフォローして、写真タイトル、撮影場所(町名、地名等)、撮影月を記載し、「#2026なんごうりフォトコンテスト」のハッシュタグを付けて投稿してください(ハッシュタグの文字は全て全角。#滋賀県 #長浜市もよければつけてください)。
- ・入賞の方のみ、Instagramのダイレクトメッセージで通知いたします。



LINEで送る

- ・下記QRコードを読み込んで、南郷里地域づくり協議会の公式アカウントと「お友達」になっていただき、画像を送ってください。



「第3回 南郷里のココが推し! フォトコンテスト」応募票

氏名	ペンネーム(希望する場合のみ記入)	年齢
		歳
住所(〒 -)	電話番号(連絡が付きやすい番号)	-
写真タイトル	撮影場所(町名、地名等)	撮影月
		月